

# JAL争議の早期解決をめざして 関東キャラバン→本社大包囲行動へ



支える会通信

**関東キャラバンで地方から大きな支援**

5月20日から30日まで「JAL争議の早期解決をめざす関東キャラバン」がJAL中部共闘（東京中部地域で結成されるいわゆるナショナルセンターの枠組みを超えたJAL争議の支援組織）を中心とした実行委員会の主催で1都7県をまわって行われました。20日山梨甲府駅伝行動を皮切りに、21日茨城水戸駅、22日栃木市役所前など、23日群馬高崎駅、24日千葉津田沼駅・千葉駅、27日埼玉県庁前・大宮駅、28日神奈川崎駅・横浜駅、29日立川駅と宣伝行動を行ない、最終的に30日の天王洲アイルのJAL本社大

発行責任者  
柚木康子  
大田区羽田  
4-10-4  
石井ビル3階  
TEL03(6423)7878  
FAX03(6423)7430  
メール  
sasaerukai@lemon.plala.or.jp



5月30日 JAL本社前行動へ繋いだ

包囲行動につなげるキャラバンでした。各地で駅頭や行政機関での宣伝行動、団体・労働組合への要請行動・集会が行われJAL争議の実情を伝え早期解決への支援を訴えました。この行動に駆け付けて下さった支援者と争議団の延べ参加者数は約1000名。配布したチラシは約1万枚、要請した団体は26団体でした。争議団は各地でJAL争議をご自分の問題としてどう

## 久しぶりのJAL本社前行動に650人の結集！

久しぶりのJAL本社前行動に650人の結集！全労連・東京地評の総行動に引き続き行われた30JAL本社大包囲行動には約650名が結集、立った幟は約150本。総行動では、野村全労連事務局長の挨拶に引き続き内田客乗団長が「1年たつても解決できないのは争議の根本を理解していないからだ。解決を延ばせば職場の士気は下がり、企業価値を落とす。あの破綻から何を学んだのか。判断ミスが破たんを招いたのだ。JALの不誠実な態度を皆で変えている」と決意表明。

え、連帯してくださる多くの支援者と出会い、そして共に行動することによって大きな勇気をいただき、支援と連帯の輪を確信することができますた。



5月24日 関東キャラバン千葉集会

支援共闘主催の集会は、糸谷全国港湾支援共闘代表の挨拶に始まり、全国キャラバン事務局の青柳さんから関東キャラバンの報告、上条弁護団長から委員長、CCU野中執行委員から多くの支援者の結集に対するお礼が述べられました。

争議団を代表して山口パイロット団長から「8年半の闘いで、165人の解雇の狙いが明確になりました。解雇が経営上の問題

には関係なく、物言う労働者排除であり、労働組合の弱体化にあつたことを会社自ら証明した。今、会社には三つの弱点がある。一つは、憲法違反をして165人の首を切ったこと。不当労働行為は新聞紙大の反省文を掲示したが、憲法違反については何の償いも謝罪もない。

二つ目は、昨年4月の「出来るだけ早期に解決したい。心からそう思っている」との赤坂社長発言だ。労使の経営協議会での社長発言であり非常に重いものだ。発言から一年経つても全く解決していない。実行できないなら社長の資格はない。

三つ目はベテラン乗務員から首を切った問題だ。知識・技術・経験・チームワークは安全を確保する上で重要



5月23日 群馬での要請行動

JAL争議は今日の日本では、最も大きな労働争議の一つとなつてゐる。これからも、運動を一回りも二回りも拡げて、JALを包囲

JALの不当解雇撤回争議の原告の皆さん、神奈川県内の労働組合や市民団体を回り集会やイベントに顔を出して、物品販売や争議支援の訴えをされるようになります。いつも明るい原告の神奈川担当の平井さん・白井さん・小栗さんたちは、すっかりかながわの人になっています。

そうした原告たちの才

支援共闘に結集している神奈川県下の労組・団体が音頭をとつて毎月1回横浜駅高島屋前で1時間だけですが宣伝行動を実施してきました。

宣伝活動が終わると、参加団体の有志の交流（反省会という飲み会）がかかるさすもたれできました。「反省会」を重ねた中、「ボーット」して

## かながわ連絡会準備会発足

して解決を目指したい。  
今や、私たち争議団だけでなく、労働組合や支援者の力量までもが試される状況になっている。納得できるまで、勝利するまで、これからも粘り強行いました。

く闘う。」と決意表明。

共同代表の中岡全労協事務局長の閉会挨拶に続

き、本社に向かつて全員で「早期に解決せよ！」とのショプレヒコールを行いました。



5月28日 横浜駅前で宣伝行動

が「JAL不当解雇撤回支援かながわ連絡会準備会」（「準備会」）です。3月28日の定例宣伝行動が終わってから、神奈川県民サポートセンターで神奈川連絡会準備会を結成しました。共同の代表委員には、住谷和典（神奈川労連議長）、川端勇二（神奈川県共闘会議議長）、浅井優子（日本税制懇話会副理事長・女性の税制担当・税理士）を選

出し、かながわの地域で「JAL不当解雇闘争の統一要求」をもとにした早期解決をめざして、神奈川労働組合共闘会議、かながわ地域労働交流、国労神奈川支部、神奈川労連、川セントラル等からの参加者と原告の皆さんと一緒に力を合わせていこうことが確認されました。

早速、4月11日には、JAL関連の旅行代理店訪問を11名が参加し、店訪問を11名が参加し、JALの早期解決への理解を訴える文書・チラシを手渡してきました。さらに、準備会として、国民支援共闘会議が提起しているハガキ・団体署名、5月30日の本社大包囲行動、28日の関東キヤラバンin神奈川を成功させるため、県内の主要な労働組合、

市民団を訪問し要請行動も行つきました。

5月28日の神奈川でのキャラバンでは、市

民団体と一緒に昼休み

デモ、午後、川崎駅頭

での宣伝、川崎日航ホ

テルの訪問等、夕方は

横浜駅の高島屋前で1

時間半にわたつての宣

伝行動、フェニックス

と神奈川のうたごえの

仲間の素晴らしい合同

ミニコンサートは、道

行く人までが感動し立

ち止まつて聞いてくれ

ました。

配布したチラシ・ティッシュ300枚、参加者は原告含め60名を超えていました。あの空に必ず、解雇された仲間を戻す勝利解決を！そのための連帯行動を広げようと決意し合いました。

9年前の不当解雇時の最高責任者・稻盛和夫JAL元会長の地元京都市伏見区大手筋商店街は大変な人出でした。10連休の2日目でしたが、165名もの仲間の素晴らしい合同ミニコンサートは、道行く人までが感動し立ち止まつて聞いてくれました。

JAL闘争を支える京都の会が呼びかけ、きょうとユニオンや自立労連などのユニオンネットワークの皆さんも参加され、長い商店街、東入り口から宣伝開始し、移動してはスポット演説と通行人や商店へのビラまき。

たいへん共感を持った御夫婦がずっと追つ

かけて話を聞いていただき、「名古屋から来たけど、名古屋でもこういう運動はやつてるのですか?」「娘と誰と誰に渡したいから・・・」と、何枚もビラをお持ちになりました。ビラを受け取つて「あ、JALか~稻盛はんか?」と一生懸命ビラの内容を読まれる方など、市民の皆さん、観光客の皆さんの反応は絶大でした。

去年の3月3日のこの商店街での宣伝行動は、CA原告がご参加いただきたく、約100店舗ある伏見大手筋商店街のオーナー見大手筋商店街のオーナー総当たり作戦を展開し、稻盛和夫夫人（朝子さん）が「じょぢゅう来てみて！」というパチンコ屋さんまで教えていただきました。

**稻盛元会長地元商店街で連休に宣伝  
・・市民も大注目・・JAL争議**



「JALは最高裁で不当労働行為が断罪されています。ぜひ稻盛さんにお知り合いの方はお声かけを!」「儲けなくして安全なしの稻盛イズムでは、また大事故が起きますよ」「経営の神様..稻盛さんの晩節を汚さないよう」と訴え、500枚の原告団本部から送つていただいたチラシは予定した1時間できれいに完配できました。(JAL)闘争を支える京都の会・K)

**各地の  
メーテーに参加**

第90回メーテーは、全国294カ所で開催され、15万人以上の人々が集りました。争議団は今年も全国に行き、以下の22カ所のメーテーに参加して早期解決に向け訴えました。

## 争議団活動報告

### 有楽町JALプラザ前座り込み行動

久しぶりに4月22日

から25日まで、有楽町JALプラザ前で座り込みが行われました。のべ194名の参加で1000枚のビラを配布しました。横断幕を熱心に見る人、話をどういうことかと詳しく聞いてくる人、「ベランを切るのはいかん」と声をかける人等、関心を持って下さる方々が沢山いました。

### 5・3憲法集会でアピール

励まされました。

5月3日、6万5千人が集まった江東区有明防災公園での憲法集会では、JAL争議団は物販を行い、憲法28条違反で強行された解雇をアピールし、解決に向けての支援をお願いしました。



5月3日 憲法集会で物販・アピール行動

